

新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして、実り多い年となりますようにお祈りいたします。町では現在つつがなく町政も進行しております。大きな事件や災害の発生もなく、穏やかに新年を迎えることができますのも、ひとえに皆様方のご協力のお陰と深く感謝いたします。

—子どもたちは町の宝—

さて、今年の干支である「戌」にちなんで、皆様も多方面で思い切りジャンプし、力強く疾走して成果を出していただければ幸いです。野木町は、子育てしやすく住みやすい町として、大方の皆様徐徐に認めていただいております。若いファミリーがもっと町に移り住んでくださるよう施策の充実を図っていきたく思います。元気に遊ぶ子どもたち一人ひとりがさらにキラリと輝けるような町になることが、私の夢でもあります。一方で、子どもたちの夢はこれからも無限大に膨らみ、その夢の実現のために、私たち大人が共に歩調を合わせていけたら素晴らしいと思います。野木町の子どもたちは私たちみんなの宝として、健やかな成長と夢の実現のためにみんなで応援していきましょう。



野木神社のふくろう



野木町長
真瀬宏子

—県南のキラ星★野木町—

野木町は栃木県の南の玄関口であるとともに大きな市に囲まれた「かわいらしく、小さな町」でもあります。町内に施設はコンパクトにまとまっているので、暮らしやすい環境にあります。顔の見える関係が生まれ、丁度いい大きさなのかもしれません。「小さくてもキラリと光るまち野木町」がもっときらきら輝くためにも町の認知度を高めていきたいと思えます。今年あらゆる機会に、町の観光資源を最大限活用してまいります。煉瓦窯やひまわりの花、ふくろうも棲む招福のまちを宣伝し、町の誇りが皆様の胸にしつかりと刻めるように努力してまいります。

—支えあう町—

私たちは一人では生きていきません。「人」の文字のように、誰かと支えあってこそ勇気が湧いてくるというものです。顔が見える形で支えあうしくみが野木町ではできると思っています。今年も引き続き、自助、公助、共助の研究と実践を心に留めてまいります。みんなが助けあえる社会のネットワーク作りも更に進めてまいります。多くの人々の支えあいのしくみができ、福祉のまちに相応しい姿を作っていきます。

—花とレンガの町—

ところで、今年の4月～6月は、デザインেশョンキャンペーンがよいよ本番となります。みんなで野木町を「ひまわりの里」として宣伝していきましょう。そして、なんと7月の「ひまわりフェスティバル」と野木町煉瓦窯の行事はみんなで大いに盛り上げていきましょう。

以上、年の初めにあたり、私の抱負の一端を申し上げましたが、今後もより良いまちづくりを目指して前進していきたく思います。それには何といたっても皆様のご協力が必要ですので、どうぞよろしくご支援の程をお願い申し上げます。今年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶といたします。

ごあいさつ

謹んで
新年のごあいさつを
申し上げます

